

第五部
資
料

被害

昭和二十九年に発生したビキニ事件で被害を受けたマグロ船は、三月十六日から十二月三十一日までの間、厚生省が指定した塩釜、東京、三崎、清水、焼津の指定五港に限っても、三八四隻が廃棄処分を受け、廃棄した量は約三七三トンといわれている。

三崎でも三月十七日から検査が始まった。検査の結果、放射能が検出されマグロの廃棄処分を受けた漁船は一五〇隻を越えた。だが、三崎港で検査を受けて放射能が検知された漁船、あるいはマグロが廃棄処分となった漁船の船名は三分の一近くが明確にわかっていない。また船名がわかっていても、汚染された数量や、廃棄数量、廃棄方法、操業海域などがわからない船も多い。したがって、船名の場合には、船名のみを記載した。入手し得た資料から拾い集めたのが次の資料である。

(※印は、三崎での水揚げ記録はないが、三崎港所属の船は三崎港で水揚げした後、東京に回航している。東京都衛生局の資料を参考としてあげたものである。従って入港日は東京港に入港した日である。●印は、廃棄場所が海洋か地中か不明のもの)

三崎港で放射能を検出された漁船一覧(3月17日～12月10日)

入港日	船名	廃棄尾数	廃棄数量(貫)	廃棄方法	操業海域
-----	----	------	---------	------	------

4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
22	21	19	18	16	14	14	14	26	19	17	17	17	16	16	15	14	14
7 明神丸	12 海王丸	11 福生丸	6 住吉丸	2 幸陽丸	14 尾形海幸丸	12 宝幸丸	瑞洋丸	13 光栄丸	※ 8 住吉丸	11 丸高丸	8 福吉丸	5 幸進丸	13 丸高丸	13 海幸丸	俊洋丸	大宮丸	10 住吉丸
一七六尾	サメヒレに反応		サメヒレに反応		二尾	二尾	九〇尾	全量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量	検出数微量
一七二四	三〇	一二五		七〇	一八	二六	四四七	一万三七四一・六									
海洋投棄	地下埋没	地下埋没	処分せず	地下埋没	地下埋没	地下埋没	地下埋没	海洋投棄	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず	廃棄せず
ビキニ東方危険区域付近	南シナ海	フィジー北沖	クリスマス島西海域	ニューギニア海域	マーシャル海域	ビキニ東方危険区域外	ミッドウェイ南沖	ソロモンはるか東海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域	サンゴ海海域

4	28	孝勇丸	一一五尾	一〇四四	海洋投棄	ビキニ東方危険区域付近
5	2	栄丸	九九尾	四四四	海洋投棄	ビキニ東方危険区域外
5	4	11大慶丸	二二尾	三〇七	海洋投棄	ビキニ東方危険区域付近
5	6	2成洋丸	四〇尾	五五六・九	海洋投棄	ビキニ東方危険区域付近
5	8	13丸高丸	船体に微量		廃棄せず	カロリン南海域
5	15	1復興丸	魚、船体に反応		●	マーシャル海域
5	15	8金比羅丸	魚、船体に反応		●	マーシャル海域
5	16	ほ号高宮丸	魚に反応		●	マリアナ海域
5	18	8順光丸	サメヒレ	二〇	研究材料	マーシャル海域
5	23	11信宝丸	サメヒレ	一五	地下埋没	インド洋
5	26	8住吉丸	サメヒレ	四	地下埋没	インド洋
5	31	3豊洲丸	六七尾	二四三	●	台湾沖
6	4	3宝幸丸	キハダなど	二八	地下埋没	ニューブリテン島海域
6	8※	2全功丸	一尾	三	研究材料	ビキニはるか東海域
6	23	7大黒丸		八三	●	マーシャル海域
7	12	鹿島丸	五九尾	一三四	●	ビキニはるか東海域
7	13※	11福生丸	五尾	三六	研究材料	ビキニはるか東海域
7	14	12海洋丸	五四尾	二一六	●	ビキニはるか東海域

9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7
3	3	1	31	30	29	29	28	27	27	27	26	24	22※	20	16	19
天洋丸	6 黒潮丸	13 光栄丸	地洋丸	1 明宝丸	7 大黒丸	11 大黒丸	2 幸陽丸	13 丸高丸	5 宝幸丸	12 大黒丸	25 宝幸丸	2 豊洋丸	相洋丸	11 光栄丸	12 黒潮丸	7 幸進丸
			一尾			二二〇尾							三六尾		二九〇尾	一尾
						二〇〇〇	三一	一五〇		三三〇			四二〇・四		二四七三	一〇三
一七七・一	四三・八	六四・五	八・三		五一										一七・八	
地下埋没	地下埋没	地下埋没	地下埋没	●	●	海洋投棄	●	●	●	●	●	●	●	●	海洋投棄	●
						トラック島東							カロリン東沖		ギルバード諸島海域	
															ビキニはるか東海域	

9	6	12丸高丸	一四九・〇	地下埋没	
9	7	1東丸	四一・三	地下埋没	
9	8	7清寿丸	三四・九	地下埋没	
9	9	1日祥丸	六六・二	地下埋没	
9	12	2成洋丸	三五・八	地下埋没	ニューギニア東方
9	15	瑞洋丸	三八・八	地下埋没	
9	23	11太洋丸	三六八・九	海洋投棄	
9	23	13西丸	八三九・九	海洋投棄	
9	26	11大慶丸	六〇三	海洋投棄	ソロモン海域
9	27?	11太洋丸	六〇三・九	海洋投棄	
10	2	10宝幸丸	九二〇		ビキニ東方（指定区域外）
10	2	福洋丸	一二一七・六		ヤルット島付近
10	2※	10福生丸	一二・一	研究材料	クリスマス島北方
10	3	11宝幸丸	六九二		
10	4	3復興丸	二四二		
10	10	11熊栄丸	二四五		
10	10	8宝幸丸	一七九・五		
10	13	孝勇丸	二五一五・八		

[illegible]

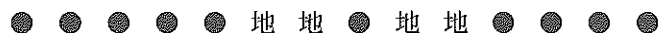
	地下埋没	
	地下埋没	
	地下埋没	
	地下埋没	
	地下埋没	
	ニューギニア東方	
	海洋投棄	
	海洋投棄	
	ソロモン海域	
	海洋投棄	
	海洋投棄	
	ビキニ東方（指定区域外） ヤルート島付近 クリスマス島北方	研究材料

11	5	金兵衛丸	●	大島近海
11	5	1五十鈴丸	●	
11	5	5住吉丸	●	オーストラリア東方
11	3	松丸	地下埋没	大島東方近海
11	3	2栄丸	地下埋没	大島東方近海
11	2	六佐丸	地下埋没	大島東方近海
10	29	8明神丸	地下埋没	ソロモン南方
10	29	11大黒丸	地下埋没	ミッドウェイ
10	25	孝栄丸	●	大島近海
10	25	海洋丸	地下埋没	ソロモン海域
10	25	15黒潮丸	地下埋没	ソロモン海域
10	20	5明神丸	海洋投棄	マーシャル諸島海域
10	19	1源栄丸	地下埋没	
10	18※	11福生丸	海洋投棄	ニューカレドニア近海
10	16	8福吉丸	海洋投棄	トラック島南
10	15	7福生丸	海洋投棄	ヤルート島付近
10	15	孝栄丸	地下埋没	大島近海
10	13	8福生丸	●	
		一七三尾		二二五四・五
		一五四尾		一八五六
		一尾		一六
		三九四尾		四一〇八・五
		一尾		八
		四尾		八四
		五一尾		五三九・六
		一尾		
		六尾		
		一尾		
		一四尾		二〇四・五
		一尾		一五・七

12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11
10	7	5	3	2	12	12	10	9	9	8	7	6	6
7 笹山丸	盛運丸	1 順光丸	2 公洋丸	山村大黒丸	栄龍丸	栄丸	瑞洋丸	六佐丸	南海丸	13 丸高丸	山村海幸丸	龍神丸	清徳丸

一尾 一尾 六尾 一尾 一尾 二六尾 一尾 一尾 一尾

九〇・四 二九〇



地下埋没 地下埋没 地下埋没 地下埋没 地下埋没

大島東方近海 ビキニ東方 大島東方近海 大島東方近海 ソロモン海域 大島東方近海 大島東方近海

三崎港における月別廃棄隻数と廃棄量（昭和29年3月～12月）

月	〔ビキニ水爆被災資料集〕		〔県衛生年報昭和29年度版〕		〔丸生組合史〕	
	隻数	廃棄数量（貫）	隻数	廃棄数量（貫）	隻数	廃棄数量（貫）
3月	一隻	一三、七四一・六	一隻	一三、七四二	一隻	一三、七四一・六
4月	八隻	三、四八四・〇	八隻	三、三九二	八隻	三、四二五・六
5月	一二隻	一、七六二・三	一二隻	一、七六一	一二隻	一、五一七・二
6月	四隻	三四九・七	五隻	四六五	六隻	七一一・八
7月	五隻	六二四・九	五隻	六二四	五隻	六二六・九
8月	一三隻	七、八二五・五	一二隻	七、八六四	一二隻	七、八六三・二
9月	一一隻	一、九二五・二	一三隻	二、四七六	一三隻	二、七四六・四
10月	二六隻	一七、一〇五・一	二五隻	一六、六七六	二五隻	一六、五六七・〇
11月	四一隻	三、二二七・二	四二隻	三、一〇一	四一隻	三、一六八・三
12月	三〇隻	二、四七八・九	三〇隻	二、六八九	三六隻	三、一一〇・〇
合計	一五一隻	五二、五一四・三	一五三隻	五二、七八〇	一五九隻	五三、二〇八・〇

県意見書に添付された資料より「鮪類取引状況」(三月中)

日	キハダ ピン長 平均値	鮪類 平均値	総水揚高(貫)	自三月一日至一四日の平均 単価による推定水揚金額 (貫四七七円)(A) 円	実際水揚金額(B) 円	損害額(A-B) 円	水揚隻数
1	四七七	四七六					
14							
15	(休)	(休)	目				
16	四五一	三六三	五七、八一〇	二七、五七五、三七〇	一九、九七五、三三〇	七、六〇〇、〇四〇	六
17	四二八	三〇三	三九、一一八	一八、六五九、二八六	一二、三八七、七九九	六、二七、四八七	四
18	四二二	三六〇	一二、二六五	五、八五〇、四〇五	四、三三五、三二三	一、五二五、〇九二	四
19	(休)	(休)	目				
20	二九四	二二〇	三九、一八五	一八、六九一、二四五	九、一八九、七九九	九、五〇一、四四六	五
21	(休)	(休)	目				
22	二七二	二六二	四七、一八五	一二、五〇七、二四五	一三、一六九、四四九	九、三三七、七九六	七
23	二九一	三〇一	六〇、二四八	二八、七三八、二九六	一八、三七七、一四六	一〇、四一、一五〇	八
24	三八四	三二一	五六、三〇三	二六、八五六、五三一	一七、七〇二、二七〇	九、一五四、二六一	七
25	三三一	三三九	五三、九三四	二五、七二六、五一八	一七、二九一、五九〇	八、四三三、九二八	七
26			四三、五五五	二〇、七七五、七三三	一五、〇四一、九五三	六、二三四、七八二	五
27	三三八	三三六	四〇、四一一	一九、二七六、〇四七	一二、四八八、五六四	六、七七八、四八三	七
28	四一五	三六三	一九、二三〇	九、一七二、七一〇	六、四〇五、九〇四	二、七六七、八〇六	四
29	四二三	三五五	三四、五四一	一六、四七六、〇五七	一〇、九四四、三二二	五、五三六、七四五	四
30	三六八	二九七	一六、五〇二	七、八七二、四五四	四、九五、七八八	二、九一九、六六六	三
31	二九七	三一五	一四、二七〇	六、八〇六、七九〇	四、七九一、〇六二	二、〇一四、七二八	三
計	三六六	三三一	五三四、五五七	二五四、九八三、六八九	一六六、九九四、二七九	八七、九八九、四一〇	延七四

註

三月十六日より三十一日までの水揚数量五三四、五五七貫、水揚金額一六六、九九四、二七九円であるが値下り前の平均単価による推定水揚金額二五四、九八三、六八九円に対して八七、九八九、四一〇円の損失となる。
 なお、水揚代金の支払いについては、一般消費者の買気不振、出荷先の廃棄処分等により回収は甚だしく遅滞し、その中の一部は回収不能になるものも出ることが予想される。

県意見書に添付された資料より「船別水揚状況」(三月中)

船名	水揚日	総水揚高(貫)	自三月一日至一四日の平均 単価による推定水揚 金額(貫四七七円)(A)	実際水揚金額(B) 円	損害額(A-B) 円
10 住吉丸	16 5 24	六〇、一八一	二八、七〇六、三三七	一四、八五九、七二八	一三、八四六、六〇九
2 大宮丸	16 5 20	五、八五七	二四、七三五、七八九	一七、六五〇、三二一	七、〇八五、四六八
1 五十鈴丸	16	六、〇〇〇	二、八六一、〇〇〇	一、七四〇、〇〇〇	一、一三一、〇〇〇
和光丸	16	七、〇〇〇	三、三三九、〇〇〇	二、三三四、〇〇〇	一、〇一五、〇〇〇
12 西丸	16	七、〇〇〇	三、三三九、〇〇〇	二、四三二、〇〇〇	九一七、〇〇〇
進政丸	16	三、〇〇〇	一、四三一、〇〇〇	一、五八七、〇〇〇	(一) 一五六、〇〇〇
俊洋丸	17 5 20	二、四六三	一〇、二三七、八五一	六、三三七、五七〇	三、九〇〇、二八一
13 海幸丸	17 5 23	三五、七七六	一七、〇六五、一五二	一〇、三三七、二五五	六、七三七、八九七
8 福吉丸	18 5 22	一〇、七三〇	五、一一八、二二〇	二、二二一、八四〇	二、九〇五、三七〇
3 宮庄丸	18	二、六〇〇	一、二四〇、二〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	(一) 五九、八〇〇
全功丸	22	五、三六八	二、五六〇、五三六	一、二六八、六四五	一、二九一、八九一
5 幸進丸	22 5 23	六、七八三	三、二三五、四九一	一、五〇九、三三七	一、七六、一三四
11 丸高丸	22 5 23	一七、七八八	八、四八四、八七六	五、〇〇一、〇三六	三、四八三、八四〇
1 源榮丸	23 5 24	一〇、八〇〇	五、一一一、六〇〇	二、八四七、六〇〇	二、三〇四、〇〇〇
7 黒潮丸	24 5 25	一八、四三八	八、七九四、九六	六、四〇九、八八六	二、三八五、〇四〇
2 福正丸	24	五、〇〇〇	二、三八五、〇〇〇	一、六五〇、〇〇〇	七三五、〇〇〇
2 海正丸	23 5 24	二、五〇三	五、九六三、九三一	五、九六一、〇五八	二、八七三
1 善幸丸	23 5 24	一七、七〇〇	八、四四一、九〇〇	四、五一四、三〇〇	三、九二八、六〇〇
11 大黒丸	25	一〇、六五四	五、〇八一、九五八	三、五〇五、一六六	一、五七六、七九二
神栄丸	25	一、一九二	五六八、五八四	三九六、九三六	一七一、六四八

8 順光丸	25	二九、七四七	一四、一八九、三一九	七、八七三、四五九	六、三二五、八六〇
薩州丸	25	二七、三三九	一三、〇三五、九三三	九、一一五、六七四	三、九〇〇、二五九
富山丸	25	二一、〇五四	一〇、〇四二、七三八	六、二五〇、三五三	三、七九一、四〇五
10 黒潮丸	25	二〇、五三五	九、七九五、一九五	七、六七六、三一二	二、一一八、八八三
11 福吉丸	26 27	一八、〇〇〇	八、五八六、〇〇〇	六、七九八、〇〇〇	一、七八八、〇〇〇
神威丸	27	四、六〇〇	二、一九四、二〇〇	一、四七二、〇〇〇	七三二、二〇〇
21 日光丸	27	一、五〇〇	七、一五、五〇〇	六九〇、〇〇〇	二五、五〇〇
5 事代丸	28	七、七七六	三、七〇九、一五二	二、六八六、三九六	一、〇三三、七五六
2 海幸丸	28 30	一六、一六九	七、七二二、六一三	四、七二九、八二六	二、九八二、七八七
3 あさひ丸	28	四、四三七	二、一一六、四四九	一、六一八、七九〇	四九七、六五九
1 鶴丸	29 30	一八、四四七	八、七九九、二一九	五、六〇八、五四五	三、一九〇、六七四
1 宝幸丸	29	六、四〇二	三、〇五三、七五四	二、一五四、六〇〇	八九九、一五四
1 大黒丸	29	七、〇六七	三、三七〇、九五九	二、三〇五、二〇〇	一、〇六五、七五九
7 笹山丸	30 31	一一、六四六	五、五五五、一四二	三、八二六、八〇〇	一、七八八、三四二
共栄丸	31	五、七四九	二、七四二、二七三	二、四三二、九一二	三二〇、三六一
2 青雲丸	31	三、四〇二	一、六二二、七五四	八三六、七二八	七八六、〇三六
合 計		五三四、五五七	二五四、九八三、六八九	一六六、九九四、二七九	八七、九八九、四一〇

註 販売機關は仕切金先払等の措置をとり、船主に対する支払いの円滑化につとめつつあるが、出荷代金のこげつき等により仕切り金の決済は
 遅延し、他の各船とも仕込資金の調達困難となり、次期出漁が中止となるおそれがある。
 (注・この資料には第十三光栄丸が含まれていないが、この意見書が作成された時点では、まだ海洋投棄が行われていない)

融資と補償

〔融 資〕

ビキニ被災関係漁業者に対する融資

県水産課発行「水産要覧一九五六年版」によれば、被災漁業者に対して次のような融資が行なわれた。

『昭和二十九年三月ビキニ環礁における水爆実験の影響を受けた漁業者が漁獲物廃棄、危険区域設定による迂回、魚価低落による損害を受け経営に困難を来したので、米国よりの補償金の交付までのつなぎ措置として、県の歳計現金の一部、並びに政府資金の転貸等により神奈川県信用漁業協同組合連合会及び横浜興信銀行を通じて次の通り関係業者に融資した。』

ビキニ被災関係漁業者に対する融資

区 分	第 1 回 融 資 県 歳 計 現 金	第 2 回 融 資 政 府 資 金 転 貸	第 3 回 融 資 政 府 資 金 転 貸	備 考
融 資 金 額	30,000 千円	83,000 千円	69,700 千円	融資利率は預託金の第1回は年4分4厘、第2回は6ヶ月定期とし、年5分、第3回は3ヶ月定期とし、年4分であり、末端貸付利率は年6分5厘である。 なお、県が借入する政府資金の借入利率は年6分5厘である。
融 資 期 間	自 昭 29. 4. 19 至 昭 29. 10. 12	自 昭 29. 10. 12 至 昭 30. 3. 31	自 昭 30. 5. 18 至 昭 30. 8. 18	
預託先及金額	神奈川県信漁連 (30,000 千円)	神奈川県信漁連 (27,350 千円)	神奈川県信漁連 (2,505 千円)	
融資先及金額	神奈川県鯉鮪 漁業協同組合 (30,000 千円)	横浜興信銀行 (55,650 千円)	横浜興信銀行 (44,650 千円)	
		神奈川県鯉鮪 漁業協同組合 (27,350 千円)	神奈川県鯉鮪 漁業協同組合 (25,050 千円)	
		神奈川県鯉鮪 漁業者協会 (75,650 千円)	神奈川県鯉鮪 漁業者協会 (35,650 千円)	
		三崎魚商協同組合 (20,000 千円)	三崎魚商協同組合 (9,000 千円)	

〔補償〕

政府は、昭和二十九年中に二次にわたって、被災マグロ漁船に対して、補償金を支払った。翌三十年一月には、アメリカからの慰謝料が届けられたが、この慰謝料の配分については、事務手続きなどの関係で遅れ、船主への支払いが始まったのは八月に入ってからといわれる。各船ごとの慰謝料の額については、詳細な資料があるが、資料の作成元の名前が明確に記されていないので、ここでは省略する。

政府の廃棄マグロに対する第一次補償金（三崎関係分・29年6月15日付け三崎港報による）

11 福生丸	四五〇、〇〇〇円	2 成洋丸	四〇〇、〇〇〇円
1 宝幸丸	二〇〇、〇〇〇円	12 丸高丸	二〇〇、〇〇〇円
14 丸高丸	二〇〇、〇〇〇円	1 復興丸	二〇〇、〇〇〇円
2 幸陽丸	二五〇、〇〇〇円	地洋丸	三〇〇、〇〇〇円
海幸丸	五五〇、〇〇〇円	1 大恵丸	三〇〇、〇〇〇円
12 宝幸丸	一〇〇、〇〇〇円	2 東丸	二〇〇、〇〇〇円
13 光栄丸	三九〇〇、〇〇〇円	8 順光丸	四五〇〇、〇〇〇円

政府の廃棄マグロに対する第二次補償金（三崎関係分・29年12月25日付け三崎港報による）

順光丸	一五、〇〇〇円	照洋丸	一〇、〇〇〇円
-----	---------	-----	---------

大黒丸	二七、〇〇〇円	25 宝幸丸	一九、〇〇〇円
2 全功丸	四、〇〇〇円	2 幸陽丸	八、〇〇〇円
11 福生丸	一〇、〇〇〇円	13 光栄丸	一三、〇〇〇円
3 住吉丸	七、〇〇〇円	6 黒潮丸	一〇、〇〇〇円
5 幸進丸	四〇、〇〇〇円	12 丸高丸	二七、〇〇〇円
麗洋丸	四、〇〇〇円	1 東丸	一〇、〇〇〇円
12 黒潮丸	五一七、〇〇〇円	7 清寿丸	九、〇〇〇円
相洋丸	一〇七、〇〇〇円	2 成洋丸	九、〇〇〇円
天洋丸	三九、〇〇〇円	瑞洋丸	九、〇〇〇円
12 高知丸	二二七、〇〇〇円	11 大洋丸	七〇、〇〇〇円
11 光栄丸	九、〇〇〇円	7 大黒丸	二八、〇〇〇円
2 豊洋丸	三、〇〇〇円	地洋丸	四、〇〇〇円

ビキニ被災事件に伴うアメリカからの慰謝料配分額（日鯉連史Iによる）

◎都道府県別漁船関係

都道府県別 隻 数

慰謝料額

青 森	二五隻	九、九四七、九〇〇円
岩 手	六一隻	一四、五六九、六〇〇円

大	秋	北	鹿	宮	長	高	徳	和	三	愛	静	神	東	千	茨	福	宮
阪	田	海	児	崎	崎	知	島	山	重	知	岡	川	京	葉	城	島	城
五隻	二隻	五隻	一四四隻	四一隻	一一隻	一七七隻	三〇隻	六五隻	九四隻	一二隻	二〇六隻	一四七隻	三四隻	三六隻	五六隻	二二隻	一三〇隻
			二、三八四、五〇〇円	四、八一七、七〇〇円		九〇、四〇七、一〇〇円	六、五四二、五〇〇円	二〇、三一三、〇〇〇円	三八、六三九、七〇〇円	六、〇五七、五〇〇円	九五、〇〇七、五〇〇円	一七九、三七七、一〇〇円	八、七一一、六〇〇円	一八、六三七、九〇〇円	九、七九四、六〇〇円	五、七九五、七〇〇円	四五、八一三、一〇〇円
二五二、四〇〇円	五五、二〇〇円	一、二四九、〇〇〇円			五二四、一〇〇円												

岡	山	一隻	八九、五〇〇円
香	川	三隻	二七九、二〇〇円
福	岡	一隻	六、七〇〇円
大	分	四隻	八五、一〇〇円
熊	本	二隻	三四八、八〇〇円
不登簿船		七三隻	一、一九三、〇〇〇円
内	払	三六隻	二、二七〇、〇〇〇円
合	計	一四二三隻	五八四、六五六、〇〇〇円

◎仲買・卸小売・加工業関係（ビキニ水爆被災資料集による）
産地仲買業（単位千円）

三	崎	九、〇〇〇
焼	津	五、四〇〇
清	水	一、六〇〇

陳情、請願、意見書、嘆願書、申入書、宣言・決議文一覽

(三崎関係のみ 昭和29年3月～12月)

昭和二十九年三月十七日に三崎魚市場でマグロの暴落が始まって以来、対策三崎本部をはじめ、三崎町、関係団体などが、県や国に対して陳情、請願、決議などを行ったが、昭和二十九年中に行われたものを収録した。入手できなかった資料もあるが、主要なものはほとんど網羅できた。

月 日	文 書 内 容	提 出 先	提 出 者
3 26	陳情書	県議会	対策三崎本部
3 29	原爆の被害に対する資金融通措置に関する陳情書	県議会	対策三崎本部
3 29	原爆の被害に対する資金融通措置に関する意見書	外務大臣	県議会
3 31	遠洋漁業関係者と第十三光栄丸の国家補償陳情	国務大臣	対策三崎本部
4 1	太平洋水域における原子爆発実験の停止及び実験により蒙りたる経済的損害の補償に関する陳情書	政府関係機関	三崎町議会
4 1	原爆による被害に対する補償並びに融資方陳情書	政 府	丸 魚
4 3	原爆被災に関する陳情書	政 府	対策三崎本部
4 7	嘆願書	政 府	三崎町ほか

4	20	大会宣言 決議	県庁	町民大会実行委員会
4	21	申入書	県庁	町民大会実行委員会
5	1	決議		メーデー実行委員会
5	17	原子力の被害防止に関する決議	政府	県議会
5	22	陳情書	政府	三崎町議会
6	18	原爆被害、自治体に対する事業起債優先取扱方陳情書	政府	三崎町
7	28	融資問題の陳情	水産庁	三崎町
9	30	原子兵器の実験、使用及び被害に対する完全補償に関する決議	政府	県議会
10	5	原子兵器の実験、使用及び被害に対する完全補償に関する決議	政府	町議会
10	11	宣言、決議	政府	県漁民大会

漁船名簿（昭和29年現在）

日經連、日カツが昭和二十九年一月一日現在で、二〇トン以上のカツオ、マグロ漁船を対象に作成した「全国かつおまぐろ漁船名簿」のうち、神奈川県（神奈川県）の所属船は次の通り。（県外船で三崎港所属の船も収録した）

〔神奈川県船〕

船名	船質	総屯数	根拠地	船主又は経営者
2 事代丸	S	二四七・二六	三崎港	事代漁業
8 事代丸	S	三一七・八〇	三崎港	事代漁業
11 事代丸	S	一四八・七一	三崎港	事代漁業
1 事代丸	S	一五七・〇一	三崎港	寺本 正市
7 事代丸	W	九九・〇九	三崎港	寺本 正市
18 事代丸	W	七〇・〇三	三崎港	寺本 正市
三和丸	W	一三八・五〇	三崎港	藤林 清三
共和丸	W	七〇・五八	三崎港	共和丸漁業生産組合
7 大黒丸	W	九九・四二	三崎港	小島 政夫

15 大黒丸	W	四八・九七	三崎港	小島 政夫
11 大黒丸	W	九九・四二	三崎港	徳南 水産
5 幸進丸	W	九八・一二	三崎港	細川ヨリ子
海幸丸	S	一七〇・〇〇	三崎港	山村 晴男
30 振興丸	S	一五〇・一五	三崎港	石渡 春吉 外二名
孝勇丸	W	九八・五八	三崎港	佐藤 孝吉 外一名
全功丸	S	二四五・〇九	三崎港	奥津政五郎
2 全功丸	S	一九九・四七	三崎港	奥津政五郎
12 光荣丸	W	七〇・六五	三崎港	金沢 徳尾
13 光荣丸	S	一一九・六六	三崎港	金沢 徳尾
3 大黒丸	W	八三・〇〇	三崎港	大黒丸漁業生産組合
順光丸	W	三〇・一七	三崎港	水野 平吉
1 順光丸	S	一六七・八六	三崎港	水野 平吉
8 順光丸	S	二四六・三七	三崎港	水野 平吉
11 福生丸	S	三〇七・四六	三崎港	福生水産
10 福生丸	S	三一・七五	三崎港	福島 福一
6 福生丸	S	一六八・四二	三崎港	福島 福一
11 住吉丸	S	一八〇・〇五	三崎港	四宮正太郎

1 源栄丸	S	一四八・七六	三崎港	崎島 理平
2 福正丸	W	七三・四三	三崎港	出口 正一
2 薩州丸	S	三五二・八三	三崎港	伊藤由五郎
2 薩州丸	S	二七八・九二	三崎港	伊藤由五郎
2 海幸丸	S	一五四・五八	三崎港	柳下漁業
13 海幸丸	S	三五二・二二	三崎港	柳下漁業
12 海幸丸	S	三〇〇・五六	三崎港	柳下弥三郎
7 海幸丸	S	一九二・〇〇	三崎港	柳下弥三郎
8 大洋丸	S	二一三・九四	三崎港	久保田典造
相洋丸	S	一五八・八九	三崎港	鈴木徳次郎
1 大黒丸	S	一五三・三四	三崎港	山村 利久
2 寿勝丸	W	九九・七三	三崎港	小畑 寿平
8 正天丸	S	三一七・一六	三崎港	住吉漁業
10 住吉丸	S	五二一・九一	三崎港	住吉漁業
21 住吉丸	S	一五八・〇二	三崎港	四宮 秀雄
6 住吉丸	S	一九五・八五	三崎港	四宮 秀雄
3 住吉丸	S	一五七・九二	三崎港	四宮正太郎
8 住吉丸	S	一六四・九〇	三崎港	四宮正太郎

厚生丸	建洋丸	俊洋丸	7 東丸	6 東丸	3 東丸	1 東丸	7 鹿島丸	23 高知丸	21 高知丸	16 高知丸	12 高知丸	5 平穩丸	1 松宝丸	2 幸陽丸	1 平和丸	海幸丸	8 福吉丸
S	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	W	S	W
一五一・〇五	二四二・七〇	二三五・二六	三一〇・一五	一四八・八八	一四六・九六	一三四・九六	一四八・七一	三八・三五	八一・五七	八四・一五	九九・九八	七〇・〇二	八九・六〇	九九・三一	二八・六二	一五四・五九	九九・四九
三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	三崎港	浦賀港	浦賀港	浦賀港	浦賀港	浦賀港	三崎港	真鶴港	三崎港	三崎港
大都魚類	大洋漁業	大洋漁業	大洋漁業	大洋漁業	大洋漁業	大洋漁業	須田 欣衛	上原 栄治	上原 栄治	上原 虎松	上原 虎松	石川 幸三	松宝丸漁業	株式会社八丁幸	平和漁業	尾形六郎兵衛	崎島 理平

12 黒潮丸	S	一五八・四八	三崎港	日魯漁業
12 丸高丸	S	一七九・四二	三崎港	高橋 亘
12 宝幸丸	S	一五二・九六	三崎港	宝幸水産
11 宝幸丸	S	一五二・九六	三崎港	宝幸水産
10 宝幸丸	S	一五四・〇七	三崎港	宝幸水産
8 宝幸丸	S	一五四・〇七	三崎港	宝幸水産
18 宝幸丸	S	一七一・二六	三崎港	宝幸水産
1 邦洋丸	S	一八八・八九	三崎港	宝幸水産
瑞洋丸	S	一五二・七八	三崎港	五洋水産
玄洋丸	S	一五二・二四	三崎港	五洋水産
麗洋丸	S	一四二・三三	三崎港	五洋水産
天洋丸	S	一四八・四七	三崎港	五洋水産
福洋丸	S	一四〇・四三	三崎港	五洋水産
地洋丸	S	一四八・四七	三崎港	五洋水産
7 清寿丸	S	一五三・四六	三崎港	東 貿易
青雲丸	S	三四二・〇六	三崎港	東 貿易
7 笹山丸	S	一五八・三六	三崎港	大洋漁業
南竜丸	S	三四二・二六	三崎港	大都魚類

3 姫丸	W	三〇・五〇	浦賀港	小松 賢一
11 太洋丸	W	一四七・四三	三崎港	二宮 嘉正
18 全勝丸	S	一五八・一三	三崎港	榊富 実
2 豊洋丸	S	三二三・九三	三崎港	乾 水 産
1 豊洋丸	S	三二二・五六	三崎港	乾 水 産
51 宮島丸	S	一五四・六二	三崎港	西日本水産興行
11 拓洋丸	W	九八・八九	三崎港	拓洋水産
17 拓洋丸	S	一七五・七五	三崎港	拓洋水産
15 振興丸	S	一四九・四五	三崎港	東北振興水産
80 振興丸	S	二〇五・八三	三崎港	東北振興水産
2 成洋丸	S	一四三・七九	三崎港	大成水産
18 東邦丸	S	二三七・六〇	三崎港	大成水産
8 黒潮丸	S	一七二・三六	三崎港	日魯漁業
7 黒潮丸	S	一五六・九九	三崎港	日魯漁業
6 黒潮丸	S	一五七・〇八	三崎港	日魯漁業
10 黒潮丸	S	一六九・七〇	三崎港	日魯漁業
5 黒潮丸	S	一五一・二九	三崎港	日魯漁業
11 黒潮丸	S	一五八・四八	三崎港	日魯漁業

〔県外船〕

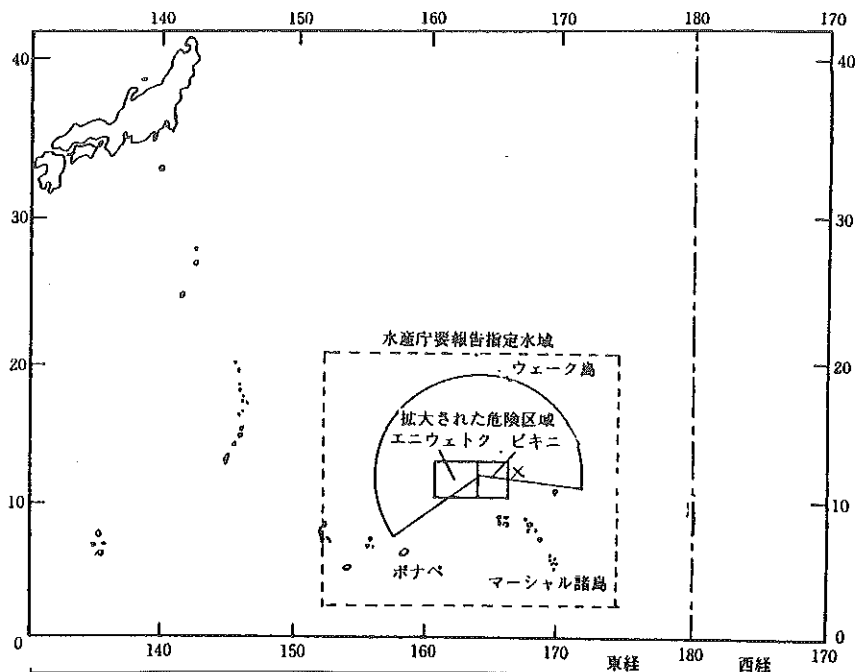
一〇一惠洋丸	W	六八・九八	三崎港	石川	了吉	(青森)
8 喜洋丸	S	一五四・七〇	三崎港	石川	了吉	(青森)
5 金毘羅丸	W	九六・九二	三崎港	辺見文雄他二名	(宮城)	
3 岩越丸	W	六七・四五	三崎港	小林	久松	(宮城)
成運丸	W	六七・四五	三崎港	深村	成市	(宮城)
海形丸	W	九九・九〇	三崎港	佐藤	卯作	(宮城)
5 進政丸	W	九九・六七	三崎港	山崎	辰雄	(宮城)
恵比寿丸	W	九七・六〇	三崎港	畠山	孝	(宮城)
3 喜久丸	W	九八・五五	三崎港	坂本喜与松	(福島)	
38 大漁丸	S	五六・四三	三崎港	大洋漁業	(東京)	
31 大漁丸	S	五六・四三	三崎港	大洋漁業	(東京)	
15 東丸	S	三四三・四六	三崎港	大洋漁業	(東京)	
18 黒潮丸	S	四〇八・一一	三崎港	日魯漁業	(東京)	
15 黒潮丸	S	四〇八・一一	三崎港	日魯漁業	(東京)	
17 報国丸	S	九七・九二	三崎港	報国水産	(東京)	
3 初潮丸	S	一四五・〇〇	三崎港	報国水産	(東京)	
1 宝幸丸	S	九九・一七	三崎港	宝幸水産	(東京)	

2 宝幸丸	S	九九・一四	三崎港	宝幸水産(東京)
3 宝幸丸	S	九九・一四	三崎港	宝幸水産(東京)
5 宝幸丸	S	九九・五一	三崎港	宝幸水産(東京)
一洋丸	W	九七・八六	三崎港	五洋水産(東京)
五洋丸	W	九七・二四	三崎港	五洋水産(東京)
11 五水丸	W	七九・〇五	三崎港	五洋水産(東京)
6 五水丸	W	七九・四九	三崎港	五洋水産(東京)
7 福生丸	W	九九・四二	三崎港	川口熊太郎(東京)
11 熊栄丸	W	八三・二六	三崎港	川口熊太郎(東京)
2 海洋丸	W	九八・七四	三崎港	山本利夫外一名(三重)
1 豊州丸	W	八八・一五	三崎港	三木 久雄(大分)
2 豊州丸	W	八八・一五	三崎港	三木 久雄(大分)
3 豊州丸	W	九九・八八	三崎港	三木 久雄(大分)

(船質のSは鉄船、Wは木船)

※ 昭和二十八年五月に静岡県に売却された第七事代丸は、第五福龍丸と名前を替えているのだが、この名簿には、寺本正市さんの所有として掲載されている。名簿編集の時点で間にあわなかったのではないだろうか。

ビキニ危険海域図

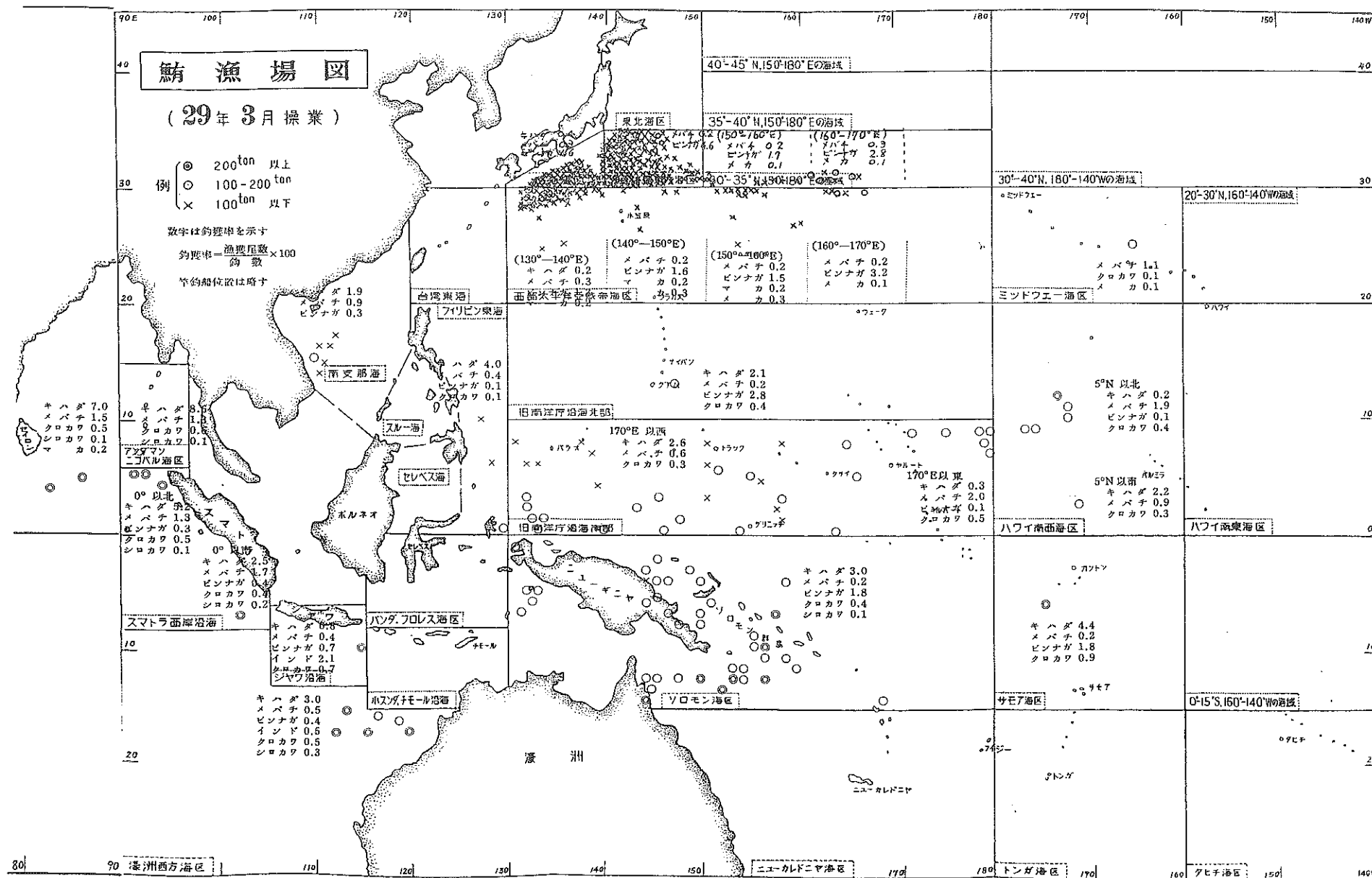


※ 四角の部分は、アメリカが当初設定した危険海域

扇形の部分は拡大された危険区域

点線で囲まれた部分は、水産庁が指定した要報告指定水域

×印は、第五福龍丸の被災位置



「日刊三崎港報」に掲載されたビキニ関連記事一覧

(昭和29年3月17日～12月28日、但しコラムを除く)

〔昭和29年〕

月 日 記事の見出し

- 3 17 ▽原爆騒ぎで三崎は打撃 ビキニ付近に操業船なし▽入札停止行わず 三崎のまぐろは大丈夫▽操業区域を調査 三崎保健所まず乗観▽一応漁獲物検査 三崎保健所で念のため
- 3 18 ▽県衛生部の放射能検査 きのうちから入港の各船に▽予算を一蹴して原爆会議 三崎できょう対策を協議▽三崎まぐろ絶対大丈夫! 県衛生部長からけさ発表
- 3 19 ▽原爆恐怖一掃のため 三崎町民二万が総けっき▽請願の理由を明らかに 解決促進の水爆を政府へ▽ポスターと証明つけて あすから全国へまぐろを発送▽関係各組合で原爆協議会きょう船員組合で午後二時から
- 3 20 ▽たべて安心三崎のマグロ 三崎対策本部で打開に全力▽たん白の欠乏は重大だ 誤解の一掃に弘報部活躍▽沖の三崎船は絶対大丈夫の漁場▽議員代表本部訪問
- 3 22 ▽まぐろ立直り見せて 三崎魚市場次第に活況! ▽あなたにも放射能あり お米にも含んで居りますよ▽町議会であす協議会▽県弘報車宣伝に活躍
- 3 23 ▽市場使用料の流用陳情 三崎魚商重大危機に直面▽まぐろ対策の議会協議会 お弁当はまぐろを食べて満腹!

3	24	▽宣伝班くり出して 安い栄養まぐろの販路拡大▽町は積極的に業者へ協力 寺本、久野両議員苦境を披れき
3	25	▽さすが老舗の貫禄見せて 三崎まぐろの販路持直す▽明日から関東地区を啓蒙 関西地区すでに不安を一掃
3	26	▽まぐろ対策で陳情書 業者と魚商がきょう県庁へ
3	27	▽無知が招いた放射能禍 宣伝も安い、うまいに切換へ▽魚価たたかれて町は危機 関係業者依然平常復帰に猛運動▽まぐろ宣伝映画
3	29	▽水産経済再建に陳情書 きょう業者たちが県庁に請願▽十三号光栄丸反応なし ホットした三崎漁業関係者
3	30	▽内山知事実情調査に来崎 預託金三千万円の支出も決まる▽十三光栄丸の鮪廃棄と判定 業者代表らきょう関係庁訪問
3	31	▽三崎今や死の街化す 町議会から関係庁へ要請書▽光栄丸のまぐろ 海洋に投棄と決まる
4	1	▽三崎町議員代表ら一行 きょう国会や関係官庁へ▽船足も重し！十三光栄丸 まぐろ一万貫の処分に野島沖へ
4	2	▽参院水産常任委員一行 きょう三崎の実情を調査▽きょう関係官庁へ陳情 三崎町議会代表ら連日打開に奉仕▽魚商協同組合からも 参院常任委員へ窮状を訴える▽持ち直した魚価 業者の努力で今一息
4	3	▽対策本部もきょう陳情 資金難で操業に重大危機▽県議会の総意をもって 政府資金の貸

付方を要望

- 4 5 ▽問題は政治的解決へ 損失補償と原爆試験中止▽魚商協同組合で 国会へ損失補償を陳情
- ▽海へ棄てた五百万円 十三光栄丸昨夜かえる
- 4 6 ▽あすの委員会へ嘆願書 業者ら悲壮な決意で運動
- 4 7 ▽魚商協同組合も陳情書 きょう国会常任委員会へ▽まぐろ問題で協議会招集 三崎町議会で新しい運動を協議か▽対策委員会八日招集▽賀川氏の講演会
- 4 8 ▽補償その他の促進期して まぐろ対策本部に強力な委員会▽まぐろやや上昇 関西向けのクロカワは低調▽賀川氏講演十二日に延期
- 4 9 ▽魚価またも暴落 放射能禍いつまで続く
- 4 10 ▽実験中止と補償を要求 危機にたつ三崎町民大会▽まぐろ対策協議会開く! 危機に直面した業者の実情を検討
- 4 12 ▽遠洋漁業の前途なお多難 新漁場開拓に船団出漁か
- 4 13 ▽町と議会が主体となり まぐろ漁業対策町民大会▽志村代議士来崎 窮状打開に資料を求む▽すし屋の免税運動
- 4 14 ▽魚価は期待できずドン底 水揚げはきょう七万貫突破▽塩釜から実情調査 議会特別委員四名来崎
- 4 15 ▽廿八年度魚市場総水揚げ 原爆騒ぎで六十億円の目標を逸す▽水爆に思う (短歌)
- 16 ▽参院会館でまぐろ試食会 恐怖の一掃に業者も頭痛はち巻き

4	17	▽魚価百円を割る 三崎の経済は全く危機▽三崎各労働組合主催で 原爆対策の町民大会開く
4	19	▽三崎地区労働協議会主催 明日魚市場前で町民大会▽漁業代表者ら関係庁訪問 まぐろの販路打開を強く要望▽徳久水産特別委員 きょう三崎の実情調査▽鮪対策委員会 二十日夜緊急協議会
4	20	▽働く者の立場から原爆禁止 きょう三崎町民大会で決議
4	21	▽漁業者の損失二億四千万円 魚商協同組合員は一億円か▽地方労協関係庁へ 町民大会決議を提出▽森崎参院委員長 楠本環境部長と来崎▽まぐろ対策業者と協議
4	22	町民大会の申入事項に 水産庁あす回答を約束▽まぐろは半値 きょう六万七千貫水揚げ組合の運営を協議 廿九日魚商協同組合で▽横浜でまぐろ試食
4	24	▽放射能の講演会 立大武谷博士を招いて
4	26	▽たな上げの三千万円で 寺本対策本部長県庁へ！▽是か非か（投書）
4	27	▽試食まぐろ各新聞社へ
4	30	▽相次ぐ放射能禍に恐々 三崎漁港の経済愈々深刻
5	1	▽三崎のメーデー 町営住宅の建設促進や 原爆禁止運動を一致可決▽十三光栄丸船員ら窮状と苦悩を訴える
5	3	▽苦境に追い込まれた三崎 漁港を覆う放射能禍いつ晴れる▽徴税に影響した原爆禍 廿八年度の決算期に成績極めて低下

5	8	▽十三光栄丸損失に朗報 一日の閣議で立替払を検討可決▽きょう横須賀で 水爆被害実情報告大会▽第二成洋丸四十本廃棄
5	10	▽山本代議士実情を調査 安藤国務相の来崎は注目▽水産庁で魚商を招く
5	12	▽原爆の影響で町は危機 財務課で町税白書を用意▽安藤国務相の回答に注目 被害調査で来崎を機に真偽を正す▽船員組合実情調査▽安藤国務相十七日来崎
5	15	▽実験中止によりみがる三崎 補償運動は飽くまで継続
5	17	▽安藤国務相に資料提出して 恐怖の一掃と損失補償促進▽安藤国務大臣 十八日三崎実情調査
5	18	▽安藤国務相実情に驚く 業者正確な資料で善処要望▽県会原爆へ一矢 満場一致で決議を可決
5	19	▽水爆損失の補償問題で 安藤大臣へ解決促進を陳情(安藤大臣来訪特集)
5	20	▽五月十日調査による損害 総額実に四億三千万円▽鯉鮪協同組合総会 廿九日損害補償其他で
5	22	▽きょう原爆被害を録音 廿四日午後四時からNHKが放送
5	25	▽水爆被害補償で再陳情 きょう三崎町議会代表上京
5	26	▽久しぶり開く町議会 ビキニ問題其他に論及▽原子爆弾実験依然継続 実験の日時はまだ明かにされず
5	27	▽三崎議会 まぐろ対策問題で混乱 小菅委員長から辞意表明▽被害の認定が解決のヤマ

水爆損害補償樂觀許さず▽魚価底をついて経済危機 ことに窮屈になった燃油

5 28 ▽水爆質問再び理事者へ 使用料問題に放射能集中(臨時町議会特集) ▽首相官邸で懇談

水爆被害者きょう上京

6 1 ▽平和者会議出席の世界代表 四日原爆被害の三崎を視察

6 2 ▽被爆金融措置に痛く憤激 政府の態度極めて冷淡だ

6 4 ▽平和者会議代表一行 きょう被爆の三崎漁港へ

6 5 ▽宗教代表今夕講演 午後は慰霊堂を参拝

6 9 ▽魚価立ち直るか! 四、五日前から上り気味▽魚肉差つかえなしの報に 業者等検査打ち
り要望!

6 14 ▽被爆まぐる損失内払い 本県該当分八百十万円▽魚市場空っぽ ビキニ問題大きく響く

6 15 ▽十三光栄丸三百九十万円 被爆補償の内払金決まる

6 16 ▽被爆特融問題で陳情 寺本氏きょう内山知事に

6 19 ▽起債に優先取扱いを陳情 ビキニの被害遂に町へ響く

6 23 ▽補償金内払いに 業者の不安いよいよ深刻

6 25 ▽寺本氏岡崎外相に陳情 損失補償今明日がやま

7 14 ▽俊こつ丸の加治木君が 白血球低下で原爆症状▽ビキニ被災各船精算

7 23 ▽水爆被害特融問題で 魚商協同組合緊急総会▽特融七千五百万円は 地元船申請に対する
もの▽一千万円は魚商へ 県の預託金は手つかず

7	28	▽水爆補償僅か八十万ドル 業者ら政府の処置に注目▽片山哲氏を囲み 水爆その他時局懇談会▽県と水産庁へ特別融資を陳情 草場町長代表者と共に猛運動
7	29	▽水爆被害の交渉報告大会 今夕西野公園で悲壮な集い▽特融問題で水産庁了解 未決の三千万円増額に交渉開始▽漁業者代表ら米大使館へ要求 水爆補償即時実施に決議文添えて
7	30	▽きょう参院で補償検討 水爆被災問題最後の段階へ▽全額補償促進に総立ち! 水爆問題交渉経過報告大会
7	31	▽片山氏迎えて憲法擁護大会 ビキニ補償問題促進にもふれる▽魚買受代金催告 丸生で市場内へ揭示
8	4	▽特融の使途を説明 町代表者ら水産庁へ出向
8	14	▽水爆被害に一驚 外人記者船員組合を訪問
8	23	▽鮪対策委水産庁へ
9	8	▽相次ぐ原爆マグロ 八月から連日検出さる
9	24	▽久保山さんの死と三崎漁港きょうの表情(関係者の声特集)
10	4	▽全国漁民大会に先立ち 十日に三崎で県下大会か▽原爆対策漁民大会 十二日読売ホールで▽廃棄のまぐろ 九月分は二四七六貫
10	5	▽原子兵器の使用禁止と 損害の完全補償を決議▽十日、三崎で県下漁民大会
10	8	▽漁民大衆・政府の軟弱外交を痛撃▽原子兵器の使用禁止大会 十一日夜新生座で悲壮な集い▽被害実数に数十億 遠洋漁業かい滅の危機

12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10	10
25	23	20	11	10	19	17	15	16	13	12	11	11
▽百廿三万円を交付 三崎の被災漁船に補償	▽明日東京で対策協議	▽マグロの放射能検査作業を全廃（関係者の声特集）▽補償促進に再びけつ起	▽放射能は無害か 検知は依然として続行	▽同情したい検知班の苦勞 黙々不休の活躍、人に知られず	▽沖合検知の効果てきめん 測定器の携行船に原爆マグロなし	射能検出被害漁船も四十隻に	▽五百カウントまでは無害 放射能鮪廃棄基準緩和か▽三千二百貫を廃棄処分 十一月の放	▽神奈川丸かえる 測定器の故障で期待した放射能検査は惜しや中絶	▽近海鮪から放射能 今月になって一一六貫廃棄	▽近海めばちにも放射能 八号福吉丸は漁獲の半分廃棄	▽米大使館員に手交 県下漁民大会の決議文▽放射能の座談会	▽大会実行委員ら大挙上京 閣僚や米大使に決議文を手交
		寺本組合長										▽平和を愛する三崎全町民は 今夜の漁民大会へ（特集）